

# 平成13年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況 (要約)

## 1 平成13年度の実施状況

平成13年度は、管理経営基本計画（計画期間：平成11年1月～21年3月）の3年目、5年間の集中改革期間（平成11～15年度）の中間年に当たり、新たに制定された森林・林業基本法の理念も踏まえ、公益的機能の発揮を基本とする管理経営を更に進めるための各種取組を実施した。本報告は、この点について国民の皆さんの理解をいただけるよう、写真と図表を使ってできるだけ分かりやすく記載したものである。

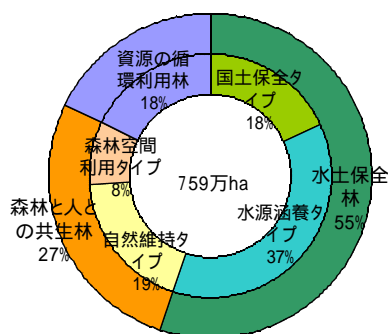
### 「管理経営基本計画」の主な内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営への転換
- ・森林の流域管理システムの下での民有林との連携
- ・「国民の森林」にふさわしい国民に開かれた管理経営
- ・国民共通の財産である森林の保全・保護対策の充実
- ・林産物の持続的かつ計画的な供給
- ・地域社会の活性化に資する森林の活用
- ・事業実行の民間委託化の推進と組織・要員の合理化・縮減

## 2 平成13年度の主な取組

### (1) 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営の推進

- ・3つの機能類型区分（国土保全林、森林と人との共生林、資源の循環利用林）に応じた森林づくりを推進。（本文6ページ～8ページ）



- ・ 公益的機能を重視した森林づくりを進めるために全国122箇所に設置している「森林施業モデル林」を活用して、施業方法に関する現地検討等を実施。(本文6ページ)



「水土保全長期育成モデル林」において、流域森林・林業活性化協議会と合同で、長伐期施業における間伐方法等についての検討会を開催。  
 [香川県琴南町]  
 (四国森林管理局  
 香川森林管理事務所)

## (2) 流域管理システムの推進

- ・ 流域管理システムの定着のために、「流域管理推進アクションプログラム」を作成し、全国で約300の課題に取り組む。(本文14ページ)



高性能林業機械の普及と間伐の推進を目的とした現地実演会を開催。林業関係者約100名が参加。  
 [福島県いわき市]  
 (関東森林管理局  
 磐城森林管理署)

- ・ 民有林と国有林が一体的な森林整備を行うための取組を推進。(本文13ページ)



北海道と北海道森林管理局は、百年後を見据えた多様で豊かな森林づくりを進めるための「北海道の森林づくりに関する覚書」を締結し、連携を強化。  
 [北海道]  
 (北海道森林管理局)

(3) 国民に開かれた管理経営の推進

- ・ 教育機関等と連携して、森林環境教育や教育関係者の研修を実施。延べ約28千人が参加。(本文17ページ)

教育機関等との連携による森林環境教育への取組状況

連携機関	回数	参加者数	主な取組内容
小学校	368	18,178	紙芝居を用いた森林教室や木工教室、昆虫観察会等を開催。
中学校	117	4,453	少年自然の家に宿泊する都市部の中学生を対象に、間伐等の体験林業を実施。
高校・大学	39	1,555	普通高校の生徒を対象に、植樹等の体験林業を実施。
教育委員会	44	3,057	教員を対象とした研修に協力し、間伐体験、植物観察会を開催。
その他	22	1,000	PTA主催の研修会で森林教室を開催。
計	590	28,243	



教育委員会と連携して、野外学習カリキュラムづくりのための研修会を開催。18名の先生方が、自然観察や間伐、木工品の作成等を実際に体験しながらカリキュラムづくりを実施。  
[ 愛知県設楽町 ]  
( 中部森林管理局名古屋分局 )

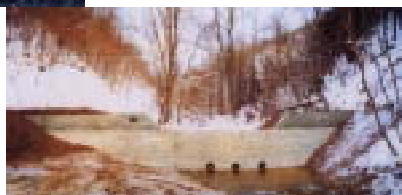
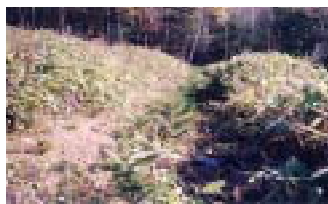
- ・ 地域固有の伝統文化の継承や地域の活性化に貢献するため、分収造林制度等を活用した「こけしの森林」や「バットの森」などを設定。また、こうした取組を促進するためのシンポジウム等を開催。(本文50ページ)



こけし文化を継承していくための「こけしの森林」づくりに分収造林制度を活用。  
「こけしの森林」づくりを通じた地域づくりをテーマにシンポジウムを開催。  
[ 青森県黒石市 ]  
( 東北森林管理局青森分局 津軽森林管理署 )

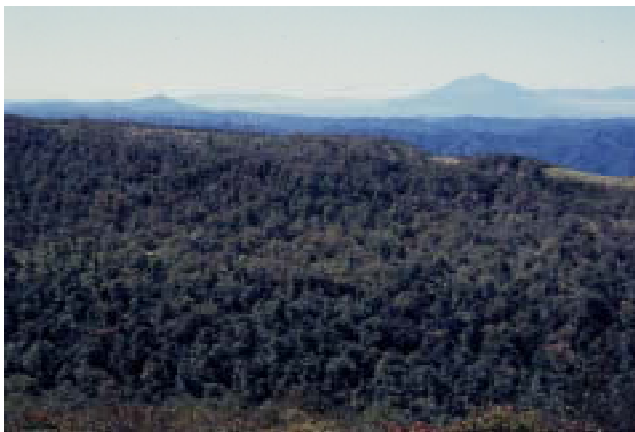
(4) 森林の保全・保護対策の充実

- ・ 今後2年間で新たに約85万haを保安林に指定することとし、第5期保安林整備計画を変更。(本文21ページ)



安定した良質な水の供給を目指し、水源地周辺の森林整備や谷止工等の施設の設置を推進。  
[北海道佐呂間町]  
(北海道森林管理局北見分局  
網走中部森林管理署)

- ・ 新たに3箇所、約9万1千haの「緑の回廊」を設定。「北上高地緑の回廊」については、民有林と連携して設定。(本文24～25ページ)



「北上高地緑の回廊」では、岩手県や地元市町村、森林所有者の皆さんの協力により3千haの民有林が緑の回廊として連携。国有林と合わせて3万haを緑の回廊として設定。  
[岩手県岩泉町ほか]  
(東北森林管理局青森分局)

- ・ 「森の巨人たち百選」に選ばれた巨樹・巨木の保護のため、樹木医による診断や保護柵の設置等を実施。(本文46ページ)



「森の巨人たち百選」に選ばれたカツラ「森の神様」について、地元小学生とともに歩道整備等の保護活動を実施。  
[北海道美瑛町]  
(北海道森林管理局旭川分局  
上川中部森林管理署)

( 5 ) 安定的な木材等の供給

- ・ 世界文化遺産の修復に必要な木材や檜皮を安定的に供給する森林として、3箇所、約3千haの「世界文化遺産貢献の森林」を設定。(本文30ページ)



伝統的な木造建築物の修復に必要な檜皮や大径材等の資材を供給する「世界文化遺産貢献の森林」と「檜皮採取対象林」を設定。  
[ 京都府京都市ほか ]  
( 近畿中国森林管理局 )

( 6 ) 事業実行の民間委託化の推進と、組織・要員の合理化・縮減

- ・ 伐採、造林等の民間委託化を更に推進。(本文38ページ)

民間委託の実施状況

区 分	平成13年度	( 参考 ) 平成12年度
伐採(素材生産)	477 千m <sup>3</sup>	556 千m <sup>3</sup>
委 託	452 千m <sup>3</sup> ( 95 )	491 千m <sup>3</sup> ( 88 )
人工造林	3,640ha	4,006ha
委 託	2,889ha ( 79 )	3,055ha ( 76 )
保育(下刈)	101,872ha	107,501ha
委 託	90,922ha ( 89 )	93,508ha ( 87 )

注：1 ( )は、全体に占める委託の割合(%)である。  
2 分収造林における実績は含まない。

- ・ 暫定組織である事務所等の7割以上に当たる150箇所を廃止。(本文39ページ)
- ・ 省庁間の配置転換等により職員数を908人縮減。(本文39ページ)

職員数の推移

( 単位：人 )

区 分	平成13年度末	平成12年度末	縮減数	内 訳
定員内職員	5,753	6,204	451	定年退職 411 省庁間配置転換 49 その他 59 新規採用 68
定員外職員	3,017	3,474	457	定年退職 425 特別給付金 22 その他 10
合 計	8,770	9,678	908	

注： 職員数は各年度末現在の人数である。

(7) 地球温暖化防止対策への寄与

- ・ 「地球温暖化対策推進大綱」を踏まえ、間伐や複層林化、針広混交林化等を実施。また、保安林等の適正な保全管理を推進。(本文47ページ)
- ・ 分収造林やふれあいの森等を活用し、国民の参加も得つつ、森林整備を推進。(本文44ページ)



「天明水の会」では、分収造林制度を活用した「漁民の森」づくりに取り組む。小・中学校の児童・生徒、漁業関係者等約900名が参加して、広葉樹の苗木を植栽。  
 [ 熊本県蘇陽町 ]  
 (九州森林管理局  
 熊本森林管理署)

- ・ 治山・林道事業での木材利用の一層の推進。(本文47ページ)  
 二酸化炭素固定に資する木材・木製品の使用状況

(単位:m3)

区 分	平成13年度	(参考)平成12年度
林道事業	10,742	6,930
治山事業	33,010	28,790
計	43,752	35,720



治山・林道事業での木材利用と適切な森林整備の推進を目的とし「森林施業展示エリア」を設定。  
 [ 長野県上松町 ]  
 (中部森林管理局  
 木曽森林管理署)

- ・ 自然エネルギーを利用した発電の推進に資するため、国有林野の貸付関連通達を整備するとともに、民間との共同研究を開始。(本文47ページ)